

鬼怒テクノ通り希少動植物種モニタリング検討会

臨時検討会 議事録要旨

1. 日 時: 平成 15 年 7 月 28 日(月)17:15 ~ 19:30

2. 場 所: 真岡市公民館 真岡西分館 大会議室
栃木県真岡市西高間木 539 - 1

3. 検討内容:
1. オオタカ調査結果(A地区)
2. 今後の調査計画、検討事項等
3. 工事について

4. 議事要旨:

1. オオタカ調査結果(A地区)
 - A地区のオオタカは繁殖に失敗した。繁殖に失敗した時期は6月10~20日の間、繁殖段階は孵化前後と推定される。繁殖失敗は前年に引き続き2年連続となった。
 - 今年の繁殖にかかわった雌は若い個体であったと推定される。4月に観察された雌成鳥は営巣地から離れ、代わりに若い雌が入ったと考えられる。
 - 繁殖行動に影響を及ぼさないよう工程には配慮した。繁殖失敗の原因としては、(1)強力な捕食者がいて食べられたこと(2)餌が少なかったこと、が考えられる。
 - 道路事業で営巣林西側の行動圏の一部が改変されたことで、オオタカに何らかのストレスが生じた可能性が考えられる。
2. 今後の調査計画、検討事項等
 - 遠藤委員により、調査員へのヒアリングと調査原票の確認を行う。
 - 工事実施前のオオタカの行動変化を比較するため、昨年と同様のデータ整理を行う。
 - 8月のA地区の調査は、データとして利用価値が低いことから実施しない。
 - 巣内の様子が分からないと繁殖失敗理由の正確な判断はできない。来年以降からの固定カメラによる巣内の常時観察調査を検討する。
 - 工程配慮にも拘わらず繁殖が失敗したことから、今後の保護対策について見直しを行う。
 - 2ヶ年の調査結果とそれに対する検討会としての見解はホームページにて公表する。

3. 工事

- A地区の工事は8月から再開することについて承認された。

4. その他

- 次回検討会は、10月27日に開催予定とする。

5. A地区のオオタカの繁殖失敗:

A地区のオオタカは、平成7年から平成13年まで繁殖していたが(平成9年は未調査につき繁殖状況は不明)、平成14年、平成15年と2年続けて失敗した。平成15年は、平成14年の失敗を教訓にして、繁殖期間中は周辺での工事を行わないなど、工事工程を配慮したが突らずに失敗した。

繁殖の失敗について、検討会としては「鬼怒テクノ通りの工事による環境の改変が失敗の一因である」と考える。その根拠は、道路工事によって環境が変化したため、営巣地の西側に広がりをもっていた行動圏のうち西方面の利用が減って南方面が増加したことや、営巣林西側の樹林付近でのパーチが減少したことによる。
